

か る た で し も つ け 再 発 見

『下野市ふるさとかるた』

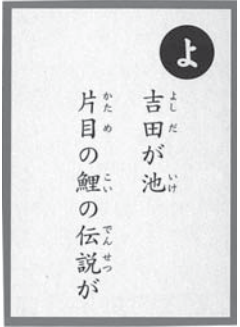
今月は「よ」です

今も薬師寺にある「吉田が池」には、こんなお話が伝えられています。

【昔、この池に片方の目しかない、大きな鯉がすむようになりまして。この大きな鯉は「片目の鯉」と名付けられ、池の主として大切にされていました。

ある日、村のならず者が水を飲もうと池を通りかかり、大きな「片目の鯉」が目の前を泳いでいるのを見て捕まえてしまいました。

この池の鯉を捕まえるとたたりがあると恐れていた村人たちは、池に鯉を返すよう忠告しましたが、ならず者は鯉を料理して食べてしまいました。



すると、ならず者は、三日三晩苦しんだあげく、ついに目が見えなくなってしまうました。

このことがあってから、吉田が池の魚を捕る者は一人もいなくなりました。」
むやみに魚を捕らないよう、大人が子どもに伝えた作り話かどうか、その真偽はさておき、下野市には、このように地域の方々によって語り継がれてきた伝説や民話がたくさんあります。

これらを採集した「下野市の伝説」ふるさとめぐりの旅」は市内小中学校でふるさと学習の資料として活用しているほか、希望者へ有料で頒布しています。(頒布場所については学校教育課 ☎(52)1118 へお問い合わせください。)

男女共同参画社会

ポジティブアクション③

▽ポジティブ・アクションの取組の具体例をあげます。

採用

・採用規定を見直し、女性が少ない職種に積極的に女性を採用する。

・採用担当者に女性を含める。

・能力を発揮できる職場づくり

・昇進・昇格基準を明確化、透明化する。

・女性に雑用を頼んでいないか、業務分担を見直す。

・女性もリーダーに

・女性に管理職への昇格試験の受験を奨励する。

・女性の管理職割合に数値目標を設置し、計画的に登用を進める。

職場において、従業員の一人ひとりが性別に関係なく、生き生きと働ける環境をつくることは、企業を成長させ企業の高齢化や人口減少などの課題の解決にもつながります。

【ポジティブ・アクション】
固定的な男女の役割分担意識や過去の経緯から、男女社員の間に差が生じている場合、格差を解消しようと個々の企業が行う自主的かつ積極的な取組のこと

■問い合わせ先
総合政策課 ☎(40)5550

まずは相談

海外宝くじの
トラブルに注意！

「賞金が当たった」などと、宝くじに当選したかのような手紙が海外から突然届き、賞金を受け取るための申込金などの名目でお金を払わせる手口が増えていきます。

一度だけのつもりでクレジットカードの番号を教えたのに、毎月料金を引き落とされるケースもありますので、カード番号等の個人情報や安易に業者に教えないことが大切です。

また、海外の宝くじは、日本国内で買うだけでも違法となる可能性があります。
高齢者が不審な請求を受けていないかなど、家族や周囲の人も日頃から注意しましょう。

下野市消費生活センター
専用ダイヤル(44)4883
国分寺庁舎2階
生活安全課内

■相談日時 月～金曜日
(祝日・年末年始を除く)
午前9時～午後5時
(正午～午後1時を除く)

※土曜日の電話相談は栃木県消費生活センターへ
☎028(625)2227

わかるかな？

まちがいがし

2枚の写真には違っているところが3つあります。見つけてみてください。(印刷の汚れは除く。)

※答えは51ページ

キッズフェスティバル
2014の様子▶

